

理事（再任）

岩穴口康次（いわなぐち こうじ）



認定NPO法人芸術と遊び創造協会 東京おもちゃ美術館／移動おもちゃ美術館 ディレクター
一般社団法人まちにわひばりが丘 まちにわ師一期生

認定NPO法人芸術と遊び創造協会で東京おもちゃ美術館/移動おもちゃ美術館のディレクターとして勤務しながら、まちにわ ひばりが丘では、街の運営に関わるボランティアチーム「まちにわ師」として、街の課題解決、街の価値向上のために「人と人」「人と地域」をつなぐイベントや情報発信などを行ってきた。

「昨年度は、地域住民を中心とした運営体制に移行した最初の年度でもあり、かつコロナ渦も重なり、理事会も手探りでの中での1年となりました。皆さんとリアルにコミュニケーション取るもの難しい中で、住民発案企画やオンラインの活用など、新しい取り組みにチャレンジすることもできました。今年度も、エリア内に様々な形で『普段は楽しく。イザという助け合える』様なつながりが生まれる機会を作っていきます。」

理事（再任）

辻 与四郎（つじ よしろう）

ひばりが丘フィールズ一番街在住

2015年4月より居住

第3期管理組合理事会理事長（2017年6月～2018年6月）

管理組合理事長を経験後、積極的にまちにわひばりが丘の活動に関わるようになる。住民の利便性向上のためのアウトドアグッズシェア事業の発案や、マンションを横断した会議体の創設にむけて他のマンションの理事と積極的にコミュニケーションを取るなど、住民間の連携づくりに従事。「理事に就任してから、もっと皆さんと直接お会いして、いろんなイベントに参加したり企画していきたいと思っていますが、肝心のFace to Faceでのコミュニケーションが取れず、あっという間のもどかしい一年でした。そんな中、私のいる一番街では、有志の方と一緒に中庭の芝生再生の大工事を行いました。いろんな方が参加いただき、すごくいい取り組みだったと思います。ほかのマンションを巻き込んでこのような活動をしていきたいです。」



理事候補者（再任）

大熊 拓也（おおくま たくや）



ひばりが丘フィールズけやき通り在住

2015年12月より居住

第2期管理組合理事会コミュニティ担当理事（2016年4月～2017年3月）

イベント参加やコミュニティ担当理事経験を通じて、マンション内外に友人が増え、ひばりが丘への愛着が深まる。理事任期終了後も、現役理事のサポートや地域イベントへも積極的に参画。住民巻き込みにおいて、まちにわひばりが丘の活動を強力にサポートしている。

「コロナにより、まちの輪を広げる活動が制限されてしまいました。

皆さんと顔を合わせる機会は減りつつも、挨拶やマスク越しのちょっとした会話で元気が出たり、笑顔になれたり…と、まちの輪の大切さを実感しています。もう少し辛抱しつつ、状況に合わせてまちの輪を深める、広げる活動をしていきたいと思います。」

理事候補者（新規）

日比野 剛広（ひびの たけひろ）さん

セキュリアガーデンひばりが丘在住

2018年5月より居住

第2期団地管理組合理事会理事長（2019年10月～2020年9月）

夫婦揃って社交性に富み、居住当初から自然体でご近所の輪を広げている。2020年夏にはコロナ禍の中、近所の子もたちのために小さな縁日を企画・実行したり、ひばりテラス118の駐車場の夜間貸し出し事業を発案し、強力なサポートを短期間で実現している。

